

大阪城

2026
3/12 (木)
4574
B5

全港通
西成分△云

224
6649-
4947

気温が13度から15度くらいになってきた。

明後日(3/14 主曜)には奈良のお水取りも終り、
長かった冬が終り春がやってくる。人間の
意識より先に物質・身体の方が先に反応して
身体が自然に合わせて変わってきている。そして
意識や気分も春の気持にそまってくる。

社会にはしきたりや規則などがあつたりして卒業
入学、入社、転職、移動とか春には動いているが
日雇労働者が約2万人もいた40年ほど昔
は、センターを中心に、全く世間とは違つて人の流れや
しきたりで春を迎え、動きはじめた。

地域も転換期で昔とは変わってきているがその
変化の方向やその先の風景は、まだはつきりは
見えてきてはいない。大阪市の人口の統計データ
では、65歳以上ぐらゐの高齢者が減ってきているとか
いう。20と30代ぐらゐの若者がふえてきているように
その内、女性の割合がふえているとか、おおざっぱな
感じだが資料があつたようだ。人口の増減、人の
流れも、どこへ向うのか、変化してきているようにす。

春はうれしいが、地球全体の温暖化で季節節が
二季の時代といわれています。冬と夏の二季で、春と
秋は短かくすく終るといわれても春はうれしいもので

経済の分野では、ガソリンがドントン、日々、上りはじめていっているという。100円が150円くらいが上りはじめていて、来週あたりには、リッター200円近くになるのでは？とか、話になっているとかいっている。

だけれども、知っているように、トランプのアメリカとイスラエルが互心にはじめたイランを「敵国」攻撃、イラン戦争のためです。アメリカの一方的な軍事力に対し、イランは、全く違違う戦い方の戦略をとっています。

「水攻め」の戦法は、日本でも昔からあった。佐々木も使ったかと思いますが、イランは、ホルムズ海峡をも

封鎖して「石油攻め」の策をとって戦っているかと

思います。ホルムズ海峡の奥からは、タンカーや船が、出てこれず、石油やLNG（液化天然ガス）が、少なくとも、一バーレルが60ドルだったのが、100ドルを越えたとか、下ったとか、ヤニわいでいます。それが、日本では、ガソリンのリッターの単価に關係しています。アメリカでは、トランプ氏が

1/3（火）の上下院議員の中間選挙にむけて、ガソリン代を下げると約束していたので、アメリカでガソリン代が上がると、選挙争いにまける不安と心配が、トランプ氏にはあります。8ヶ月ほど、イランが長期の抵抗戦争を続けること、トランプの多心所には、きいて、よく型にはなっていないきょうです。広く大きく、深く分析が、なるようです。